

# 近畿経済産業局

## (3) 情報提供

令和5年8月31日

カーボンニュートラル推進室

# 【令和4年度】主な実績

## 1. 普及啓発

- ①CNに関する草の根的普及活動  
(例：CNの潮流、データ、入門情報の浸透)
- ②対象の取組ステージに応じた説明会・セミナー  
(例：先行事例の紹介・相談対応)
- ③自治体・関係機関と連携したPR  
(例：地域の挑戦的なCNの取組の発信、産業・運輸・民生部門に対する情報発信)

### 取組ステージに応じた説明会・セミナー

- ・カーボンニュートラル全般 42回
- ・省エネ関連 17回
- ・環境ビジネスDX普及 3回、その他 11件

### カーボンニュートラル入門リーフレット

近畿地方環境事務所と連携し、カーボンニュートラルに資する取組イメージを分かりやすく伝える広報ツールとしてリーフレット「事業者のみなさまへ カーボンニュートラルって何なん？～はじめの一步～」を作成。

### 関西企業等の取組事例

企業・団体のカーボンニュートラルに向けた取組事例を作成。  
工場・事業所：6件 ビル・店舗・その他：6件  
サポートする企業：3件

### KIZASHI～プラスチック問題を解決する10の企業編～

「プラスチック資源循環」をテーマに、プラスチックのリサイクルや、生分解性プラスチック、バイオマスプラスチックの素材開発等に取組む管内の10の取組事例を紹介。



カーボンニュートラル入門リーフレット 関西企業等の取組事例 KIZASHI

## 2. 企業支援

- ①企業向けのCN関連支援施策の活用促進  
(例：CN税制、中小企業施策の紹介)
- ②企業のニーズ・ウォンツに応じた参入企業の発掘  
(例：新事業・モデル事例創出に向けた支援)
- ③CNに資するビジネスマッチング  
(例：企業間連携や自治体との協業の円滑化に向けたサポート)

### 省エネ相談窓口

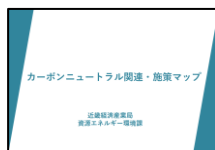
省エネの足掛かりや省エネ効果の試算等を省エネ技術指導員がアドバイスする窓口を開設。

### カーボンニュートラル関連・施策マップ

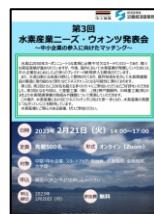
経済産業省が行っている予算事業のうち、カーボンニュートラルに関連する施策についてまとめた「カーボンニュートラル関連・施策マップ」を作成。

### 水素ニーズ・ウォンツ発表会

中小ものづくり企業の水素産業参入への普及啓発を行うとともに、中小ものづくり企業が川下企業のニーズを把握できる場を提供し、水素関連産業への新規参入を促進するためのマッチングイベント（3回）やセミナーを開催。



カーボンニュートラル関連・施策マップ



水素ニーズ・ウォンツ発表会

## 3. ネットワーク強化

- ①関係機関の強みを生かした実践的な連携  
(例：各機関の知見・人的ネットワーク共有、役割分担による相乗効果・相互補完)
- ②CNを推進するプレイヤーの裾野拡大及び重層化  
(例：産業・運輸・民生部門においてCNに取り組み関西企業・自治体の拡充、関係機関やキーパーソンとの関係構築・強化)

### 近畿カーボンニュートラル支援ネットワーク

企業向けのプッシュ型カーボンニュートラル支援強化に向け、カードゲームという気軽なコミュニケーションツールを活用することにより、カーボンニュートラル支援人材の育成、及び、連携強化を目的としたネットワークングイベントを実施。

### 自治体伴走支援

自治体による部門横断的なカーボンニュートラルの取組に対する伴走支援のほか、自治体と主に行う中堅・中小企業向けカーボンニュートラル推進を実施。

### 国支分部局との連携事業

近畿財務局、近畿地方環境事務所と連携した金融機関向けセミナー開催や、各種委員会等を通じた連携を強化。



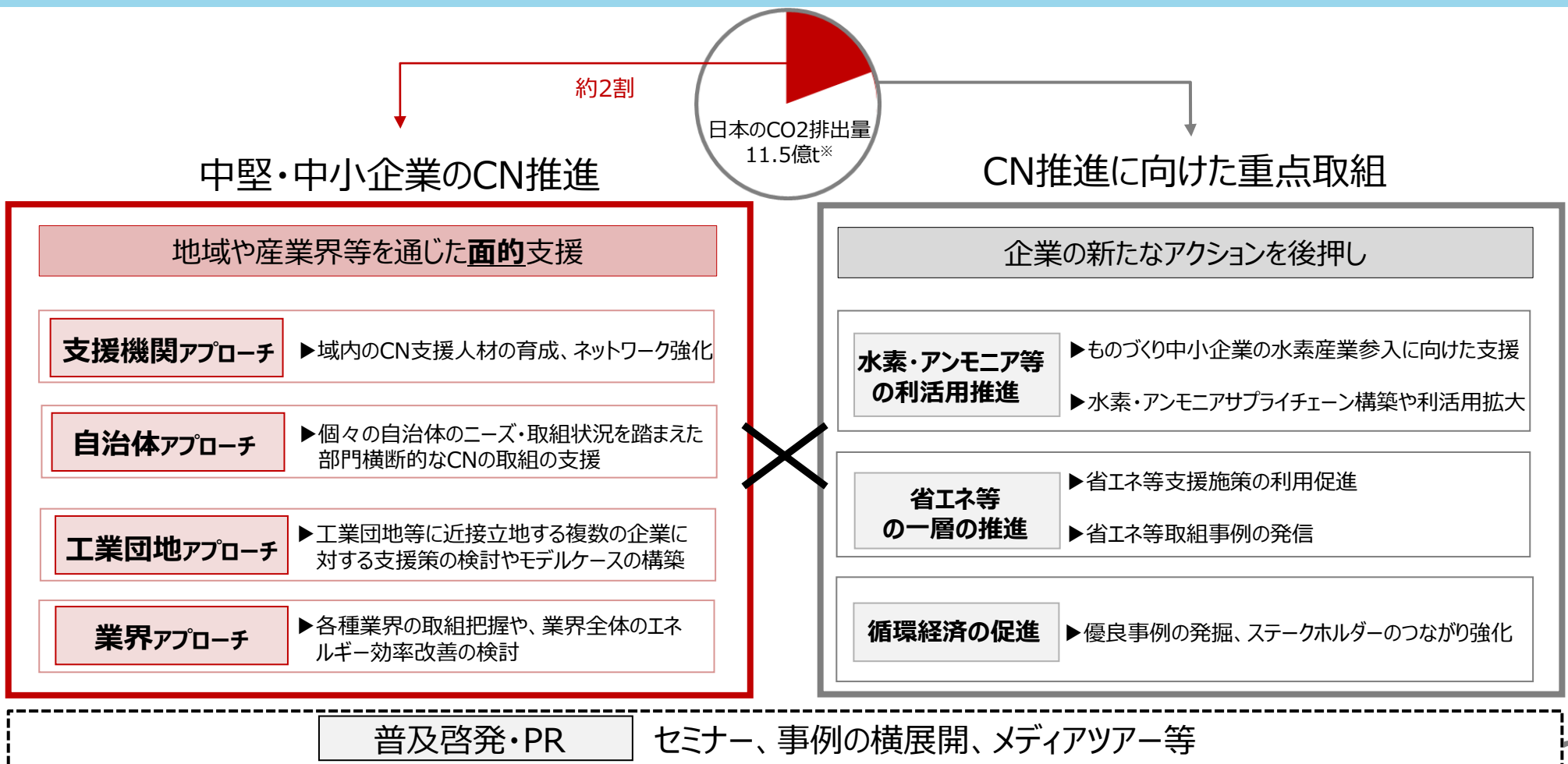
近畿カーボンニュートラル支援ネットワーク



自治体伴走支援の取組例

# 【令和5年度】カーボンニュートラルに向けた取組

- 2050年のCN実現に向けては、本年2月10日に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」においてその方向性がまとめられ、今後は地域においてもその内容を具体化していく段階。
- 近畿経済産業局では、特に関西に集積する中堅・中小企業を対象に、地域の自治体・支援機関等との連携によるCNに向けた面的な取組を強化する。



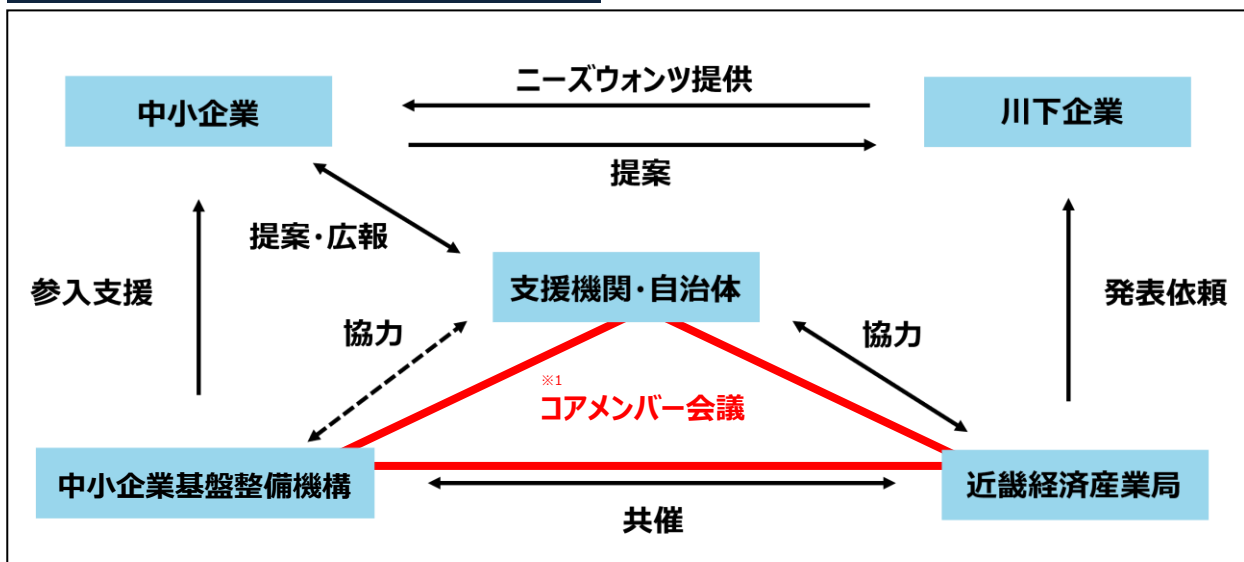
# (参考)水素利活用促進プロジェクト

## 目的：関西圏の中小ものづくり企業の水素産業への参入促進・活性

### 【令和4年度の実績】

- ・具体性をもった部素材の提案に重点を置いた、大企業と水素関連産業への参入を目指すものづくり企業とのマッチングイベントをオンラインにて3回開催。  
(実績については下記参照)

### ニーズウォンツ発表会イメージ



### 令和4年度実績

	参加企業	開催概要
第1回	・岩谷産業株式会社 ・川崎重工株式会社	・オンライン開催 ・参加申込者数：241名
第2回	・川崎重工株式会社 ・日立造船株式会社 ・株式会社神戸製鋼所	・オンライン開催 ・参加申込者数：241名
第3回	・三菱重工業株式会社 ・川崎重工株式会社 ・株式会社神戸製鋼所	・オンライン開催 ・参加申込者数：249名

### 【令和5年度の実績】

- ・より多くの中小企業にニーズウォンツ発表会への参加してもらうため、支援機関・自治体・中小機構と幅広く連携していく
- ・マッチングの質を高めるため、コアメンバー（大阪府、兵庫県、神戸市、大阪商工会議所、NIRO）と共に技術提案をする中小企業にきめ細やかな提案を行う
- ・実現性の高い商談の創出を目指し、技術ニーズだけでなく幅広いニーズを大手企業や水素関連産業に参入済みの中堅・中小企業から提案してもらう
- ・中小企業の水素産業参入への阻害要因の調査・分析及び新規参入の成功事例の整理・分析を実施し、より効率的な水素産業への参入支援策に繋げる

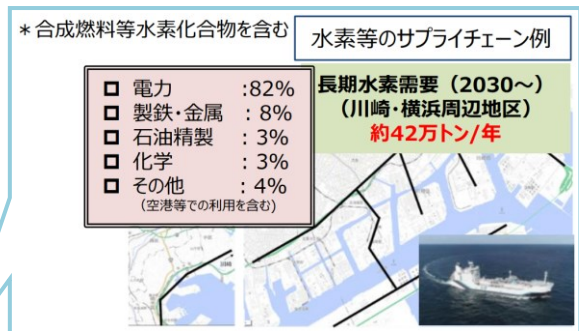
# (参考) 効率的な水素・アンモニア供給インフラの整備支援制度

## ◆ 基本的な考え方

- 水素・アンモニアの安定・安価な供給を可能にする**大規模な需要創出と効率的なサプライチェーン構築**を実現するため、国際競争力ある産業集積を促す拠点を整備

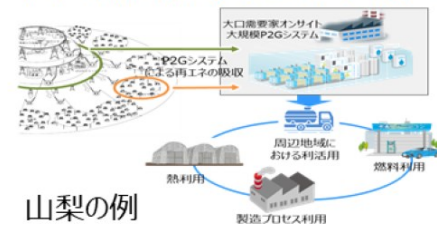


**＜今後10年間程度で整備する拠点数＞**  
**大規模拠点：** 大都市圏を中心に**3か所程度**  
**中規模拠点：** 地域に分散して**5か所程度**



### 大規模発電利用型      多産業集積型      地域再エネ生産型

大規模なガス/石炭火力が単独で存在   石油精製・化学、製鉄等の産業集積   再エネから水素・アンモニア製造



## ◆ 支援制度イメージ

